

ふるさと再発見 第62回

Re:discovery Omihachiman

まちのなまえ ⑪

「八幡」

「八幡の町の由来」

今回は八幡学区のうち、豊臣秀次によって開かれ、66か町で構成されている八幡堀周辺の旧城下町の各町の由来について、いくつかの特徴に分けて紹介します。

まず、当時の職人集団が居住したことによる町名を紹介しましょう。北東エリアには鍛冶屋町、大工町、鉄炮町、船町などの町名が見受けられます。また同じ職人集団にちなむ名前前で桶屋町（現為心町上・為心町中）、豊屋町（現西豊屋町・東豊屋町）、玉木町などがあり、これらは主に中央に所在しています。ちなみに玉木町は玉貫・玉抜の転訛で、そこから数珠職人が居住してい

たともいわれています。同じく中央には魚屋町と仲屋町があります。魚屋町は字のごとく、当時この辺りに魚屋が多かったことに由来します。「うわい」という呼称は、魚市がなまったものといわれています。仲屋町は、元々商売の仲介を意味する牙儻が変化したものです

次に、豊臣家に仕えていた人物に由来を持つ町名を紹介しましょう。孫平治町は後に甲賀市の水口岡山城城主にもなる中村一氏の通称「孫平次」から名付けられています。為心町は為心齋が由来になっているといわれています。大杉町は別名を久兵衛町と呼び、数々の城下町整備で知ら



江州蒲生郡八幡町惣絵図（一部）

れる田中吉政の別名「久兵衛」が由来となっています。さらに仲屋町の別名は市助町といい、一柳直末の別名「市助」にちなみます。

その他では、安土城下町から八幡山城下町へ町が移転した際、そのまま町名が引き継がれている事例もあります。池田町、佐久間町、正神町、慈恩寺町、新町、永原町などがあり、町名から町の移転をうかがうことができます。池田町と佐久間町は、織田信長の家臣の名前から名付けられたといわれています。正神町は安土町下豊浦の活津彦根神社付近に住んでいた人々にちなみます。慈恩寺町に関しては、

本紙1月号に詳しく掲載していますのでそちらをご覧ください。江戸時代以降でも、これらの町名は引き継がれましたが、明治5（1872）年から明治18（1885）年までの区制下では、魚屋町と為心町を境に西側の蒲生郡第5区（32か町）と東側の蒲生郡第6区（34か町）に分かれていました。明治18年、区制から町制への移行で合併が行われ、再び66か町となりました。

過去のことを知ることは、現在をより深く知ることにつながり、それは生活の豊かさへと結びつきます。皆さんも、さまざまに「まちのなまえ」から過去を探求してみたいかがでしゅうか。



現在の八幡堀

広報おうみはちまんは、各自治会を通じてお届けします。また、各学区コミュニティセンターや図書館などの公共施設、郵便局、金融機関、セブン-イレブン・ファミリーマート各店舗などに置いているほか、市ホームページやマチイロ、マイ広報紙などでもご覧いただけます。

人口と世帯 令和6年1月1日現在 ()は前月比

総数	81,860人	(- 37)
男	40,240人	(- 6)
女	41,620人	(- 31)
世帯	35,544世帯	(+ 9)

※外国人住民(39か国・地域/1,999人)を含みます。

Facebook



YouTube



Instagram



マチイロ



マイ広報紙



LINE



広報おうみはちまん

令和6年2月号

編集・発行/近江八幡市総合政策部秘書広報課

〒523-8501 滋賀県近江八幡市桜宮町236

TEL: 0748(33)3111 FAX: 0748(32)2695

MAIL kouhou@city.omihachiman.lg.jp

WEB https://www.city.omihachiman.lg.jp



●この冊子は環境配慮型紙を使用しています。印刷はCO2削減のため、再生紙を使用しています。